

# 平成25年度部局運営方針（企画部）

## 1 部局の方針

### (1) 基本方針

- ・ 柏市第四次総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、後期基本計画（平成23年度～27年度）を着実に推進するとともに、次期総合計画の策定に向けて準備に着手する。
- ・ 柏市が取り組む諸政策に優先順位を付け、市が目指す方向、重点的目標等をより明確な情報として発信する。

### (2) 現状、課題（特に重要な課題を明確にしてください）

- 1 柏市第四次総合計画後期基本計画の推進
  - ・ 後期基本計画は、来年度、5か年間計画の中間年に当たる。
  - ・ 各施策の目標達成状況を点検し、後半の取組みにつなげるとともに、行財政改革の推進など自立都市実現を目指す取組みについても点検する必要がある。
  - ・ 点検に当たっては、分野横断的・組織横断的の事業の進捗状況把握と評価手法が課題となる。
- 2 次期総合計画の策定
  - ・ 柏市第四次総合計画は、平成27年度をもって15年間の計画期間を満了する。
  - ・ 地方自治法の一部改正に伴い、基本構想の議決義務は削除されたが、計画行政を継続する上で総合計画の策定は不可欠と考える。
  - ・ 策定に当たっては、市民参加の方法や諸手続きなどについても十分な検討が必要となる。
- 3 政策の重点化（優先順位付け）機能の強化
  - ・ 各部局では年度の運営方針を策定し、その年度における施策に優先順位を付け、これに伴う予算確保と執行に取り組もうとしている。
  - ・ しかし、各部局の優先事業であっても、市政全体から見れば並列で、「総花的」との評価も免れない状況にある。
  - ・ 部局間における政策を調整し、柏市としての優先事業を明確化して予算の効果的な配分及び効果が見える形にすることが課題となっている。
- 4 戦略的な取組みの推進
  - ・ 市内には豊富な社会資源、地域資源が存在し、これらを活用した様々な取組みが全庁的に進められている。
  - ・ しかし、これらの取組みは各担当部署の方針にゆだねられ、市のイメージアップにつながる有効な情報発信となっていないのが現状である。
  - ・ 社会資源、地域資源及びこれらを活用した取組みを様々な手段を通じて有効に発信するため、戦略となる考え方が必要となっている。
  - ・ シティーセールス、広告事業等については、各部署において独自に展開している現状がある。
  - ・ しかしながら、より効果的に推進するためには、施策の趣旨・目的を共通理解し、さらに明確な戦略をもち、メリハリをもった進め方が課題となっている。

### (3) 目指す方向、重点目標

- 1 後期基本計画の着実な推進
  - ・ 計画の進行状況や、取組みの成果を市民にわかりやすく示し、今後の市政運営にその結果を反映させるため、仕組みづくりの構築を図る。

2	市民参加による次期総合計画の策定 ・従来の総合計画策定手順を検証しつつ、よりきめ細かな市民参加の方法を探り、時代の要請に合った総合計画の策定を行う。
3	政策調整機能の強化 ・「総花的」取組みを点検し、政策の優先順位を見える形で示すため、事務事業評価制度の徹底、実施計画策定作業の精度向上等を通じて企画部における政策調整機能の向上を目指す。
4	戦略的な取組みの推進 ・シティーセールス及び広告事業に係る戦略的な取組みを推進する。

**(4) 施策、目標達成の取組み(施策の優先順に記入してください)**

1	後期基本計画で設定した成果指標については、その成果を検証・公表するなど、適切に進行管理を行っていくことで、各施策の着実な推進と結果の適正評価を行う。 また、後期基本計画における、まちづくり重点テーマに掲げた事業等、分野横断的・組織横断的な取組みの評価手法について検討を進める。
2	次期総合計画の策定に向け、なるべく多くの市民の参画を得ながら計画を策定する手法を研究するとともに、本市の現状や課題を明らかにするため、基礎資料の作成に着手する。
3	市政の優先順位付けに向けた調整の仕組みを整備し、平成26年度予算編成前に「行財政運営方針」を策定し、公表する。
4	シティーセールスを推進するための方針、計画等を策定し、全庁的に取り組むことの出来る基盤を整備する。

**(5) 平成25年度の取組み**

	施策	取組み, 事業, 目標等
1	行財政改革の推進  (目標値) 平成27年度まで5カ年の財源不足額(約78億円)の解消	後期基本計画における成果指標の達成度を確認、公表するとともに、柏市行政経営方針アクションプランについて、マネジメントサイクルを活用して進行管理を行い、財政推計上の平成27年度まで5カ年の財源不足額(約78億円)の解消を目指す。推進にあたっては、行政改革推進委員会の外部評価と経営管理本部を活用するとともに、取組み状況を市のホームページ等を活用して公表することにより、適切にアクションプランの取組みを推進するものとする。
2	総合計画の策定	現計画終了後の平成28年度以降を計画期間とする、次期総合計画の策定に際し、本市の課題等を明らかにするとともに、計画の基本となる各種枠組み等についての調査・検討等を行うため、基礎資料の作成に取り組む。 また、効果的な市民参加の手法について検討、実施する。
3	効率的な組織運営	次年度において、優先して取り組むべき施策や、予算編成、組織改正、人材育成に関する考え方については、行財政運営方針として早期に策定、公開し、円滑な行政運営を図る。
4	市政情報の発信	市からの情報発信を単なる「広報事業」としてではなく、「シティーセールス」、「シティープロモーション」として総合的に位置づけ、方針、計画等を作成し、戦略的に取り組むことで、柏のイメージや柏のブランド力の向上を図る。

## (6) 経費縮減、財源確保の取組み

### 1 平成25年度の取組み

- ① 柏市行政経営方針アクションプランの推進
- ② 事業仕分け実施
- ③ 受益者負担の適正化に向けた取組み
- ④ シティセールスの推進（広告事業のあり方の見直し）
- ⑤ オフィスソフトの見直しによるコスト削減

### 中期的な取組み

- ① 事務事業評価制度の見直し
- ② 受益者負担の適正化に向けた取組み
- ③ シティセールスの推進（広告事業のあり方の見直し）
- ④ クラウド・コンピューティングの活用によるコスト削減

## 2 予算要求

### (1) 要求額（一般会計）

単位：千円，%

	歳入		歳出	
	金額	増減率	増減率	増減率
平成24年度当初予算	20,147	—	576,146	—
平成25年度要求	80,509	299.6	633,905	10.0

※歳入、歳出の差は市税等一般財源を充当します。

### (2) 前年度との比較（相違，工夫，主な増減理由等 1の(6)と重複可）

#### 1 歳入

- ・「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金 25,000 千円を計上
- ・ 柏市東日本大震災復興基金繰入金 39,720 千円を計上
- ・ 住民生活に光をそそぐ基金の事業終了に伴い 8,850 千円減少

#### 2 歳出

- ・ シティプロモーション業務委託費用 5,000 千円を計上
- ・ 第5次総合計画策定基礎調査委託 10,000 千円を計上
- ・ 柏市東日本大震災復興基金積立金 25,000 千円を計上
- ・ 庁内ネットワーク整備費用 16,599 千円を計上